
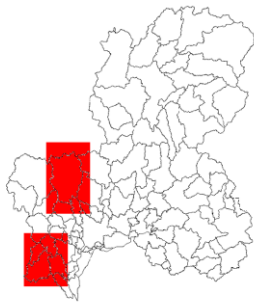


フジキ	<i>Cladrastis platycarpa</i> (Maxim.) Makino	絶滅危惧Ⅱ類
		マメ科
選定理由	自然度の高い森林に生育する種で、岐阜県では極めて生育地が限られているうえ、個体数も少ない。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	幹は高さ15mほどになる。葉は羽状複葉、側小葉は互生する。小葉は9-13枚で、卵状長楕円形、裏面淡緑色、先は鈍端。花は蝶形で長さ約15mm、白色。枝先に複総状花序をつける。豆果は広線形で翼があり長さ4-8cm。	
生態的特徴	マメ科のやや稀な落葉高木。花期は6-7月。自然度の高い落葉広葉樹林に生育する。開花個体を見つけることが稀で、開花していても高い所に咲く。	
分布状況	本州東北地方から九州に分布し、中国大陸に分布する。岐阜県では、県南西部に稀に見られる。隣接する長野県などにも分布情報がある。	
減少要因	自然度の高い落葉広葉樹林の減少。道路拡張などによる環境の改変など。存在自体が認識されないまま、森林の伐採などによって自生地が失われている可能性がある。	
保全対策	自然度の高い森林環境の維持などの保全。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・木本編Ⅰ 保育社 1971 日本の野生植物木本Ⅰ 平凡社 1989 長野県植物誌 信濃毎日新聞社 1997	

文責:福岡義洋